



# NTVP Venture Private Conference

## ベンチャー盛衰の分岐点

### “Keys to Profitability”

April 10, 2001 五反田ゆうほうと

今春の「NTVPベンチャー・プライベート・カンファレンス」は、多くのベンチャー企業が経済不況・株式不況の影響を受ける中、いかにNTVPの投資先がこの厳しい環境を乗り切り、時代を担うベンチャー企業として新しいビジネスを切り開いていくかに焦点をあてた。投資先13社の代表者が、アナリストやファンドマネージャー、ジャーナリストらに対して、特にこの局面をどう乗り越えて収益性の高い事業に結び付けていくかの将来展望を力強く語った。

プログラム		
	重陽の間 (東)	重陽の間 (西)
9:15	受付登録開始	
9:45		『ベンチャー盛衰の分岐点(1)』NTVP 村口
10:20		(株)アクティブ・ケア
10:40	アイ・アンド・エフ(株)	
11:00	エナックス(株)	
11:20		昼食対談 『ベンチャー盛衰の分岐点(2)』
12:10	ユーシーティー(株)	
12:30	サイベック(株)	
12:50	(株)ノース	
13:10		パネルディスカッション 『半導体技術ロードマップの展望』
14:00	(株)トリニティ・コミュニケーション	
14:20	アフェクトコミュニケーションズ(株)	
14:40	インフォテリア(株)	
15:00	(株)ヘルスケアネット	
15:20	イチレイヨン(株)	
15:40	(株)ディー・エヌ・エー	
16:00	(株)イメージワン	
16:20		パネルディスカッション 『ネットベンチャー夏の陣』
17:10	全プログラム終了	

はじめに「ベンチャー盛衰の分岐点(1)」と題して、村口代表が講演し、現状を嵐の中の咸臨丸に例え、「淘汰の時代に生き残り大きく躍進すべし」と檄を飛ばしてカンファレンスがスタートした。

午前中の講演では、(株)アクティブ・ケアの阿比留社長が在宅福祉サービスの問題点とそれに対応する自社の事業展開を発表し、アイ・アンド・エフ(株)の山口マーケティング・マネージャーからは独自の高い技術力に基づく画像圧縮技術とその適用分野について説明があった。続いて、エナックス(株)の小澤社長が開発中の充電式大型リチウムイオン電池の説明を行い、電気自動車の応用を含め、会場の注目を集めていた。



アイ・アンド・エフ(株) 山口マネージャー

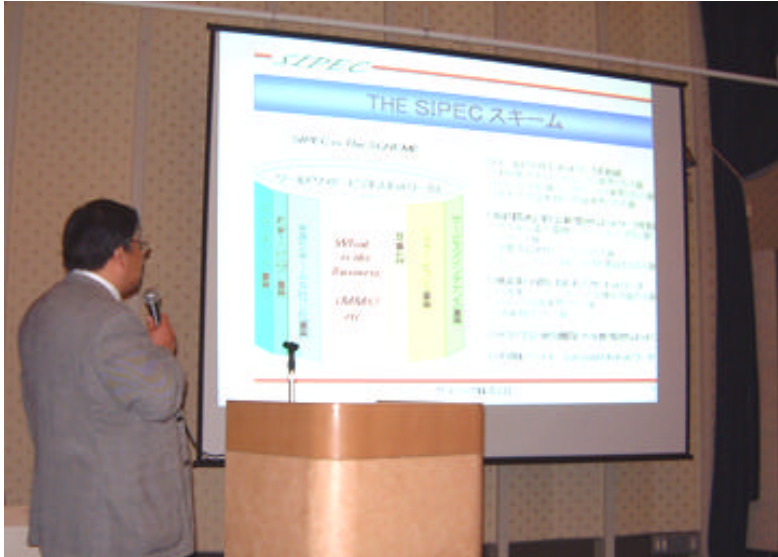


エナックス(株) 小澤社長

右上:(株)アクティブ・ケア 阿比留社長

## プレゼンテーション(午後の部)

午後の各社プレゼンテーションは、半導体技術分野の3社が続けて発表した。ユーシーティ(株)の増田社長は変化に対応した開発プランの見直しを強調し、サイベック(株)の村川社長からは現在の半導体分野での事業展開及び計画中の合併についての説明があった。(株)ノースの飯島社長は革新的な携帯電話向け実装技術を解説し、今後この技術で世界標準を取りにいくというスタンスを強くアピールした。



左：サイベック(株) 村川社長 右：ユーシーティ(株) 増田社長

プレゼンテーション後半は会場もほぼ満席になり始まった。まず(株)トリニティー・コミュニケーションの林社長からデジタルデータのビットレベルでの暗号技術とその幅広い応用について、デモ画面を交えて発表があった。続き、この3月に代表取締役役に就任したアフェクトコミュニケーションズ(株)の根岸社長は、新体制でのメッセージングとeコマース領域を中心に積極的な展開を仕掛けたいとアピール。XMLソフトウェア開発で注目を集めているインフォテリア(株)の平野社長は、新商品や提携先との取組から損益分岐点の独自分析まで明確な報告が参加者の注目を集めた。(株)ヘルスケアネットの有田社長はヘルスケア分野に特化したITソリューション企業としての地盤を固めつつあることを強調し、(株)イチレイヨンの水野社長は執行役員のアリエン氏を紹介し、同社の携帯端末システムの技術を世界に展開すべく、欧州・アジアへの積極的な売り込み姿勢をアピールした。次に(株)ディー・エヌ・エーの南場社長はライバルであるヤフーオークションの手数料有料化をビジネスチャンスと捕らえて、自社のオークションサイトの営業強化と新規リサイクルサイト「おいくら」立上げへの尽力を語った。各社のプレゼンテーションの最後は、昨年9月に株式公開を果たした(株)イメージワンの梨子本社長が情報の可視化をキーワードに、商社ビジネスから大きな飛躍を遂げようとしている同社の取り組みを説明した。



左：アフェクトコミュニケーションズ(株) 根岸社長

中央：(株)イメージワン 梨子本社長  
右：(株)ディー・エヌ・エー 南場社長





## パネルディスカッション

昼食対談の『ベンチャー盛衰の分岐点(2)』では、村口代表が時代認識を述べる一方で、飯島社長は日本発の新技术を発信して世界のデファクトスタンダードを狙うと今後の戦略を語った。

半導体技術各社のプレゼンテーション終了後に始まったパネルディスカッション『半導体技術ロードマップの展望』では、現状と背景を説明しロードマップ作成の意義について、業界の専門家たちにより提案、討議され、会場からはロードマップと目標値の設定のしかたについての質問が出ていた。

最後のパネルディスカッション『ネットベンチャー夏の陣』は、NTVP村口代表とベンチャーの起業家5名により、終了時間を延長してのディスカッションとなった。パネラーからは、「今年はベンチャー各社とも厳しい状況にあり、大選別の時代となるが、ここを生き残る企業は必ず大きく飛躍できる」など、積極的な意見が飛び交い、次を期待させるカンファレンスの終了となった。



『ベンチャー盛衰の分岐点(2)』 NTVN村口代表と株ノース飯島社長

11:20～昼食対談

『ベンチャー盛衰の分岐点(2)』

飯島 朝雄氏 (株)ノース 代表取締役

村口 和孝 NTVNベンチャーキャピタリスト

\*各席に御弁当を用意しております。

13:10～パネルディスカッション

『半導体技術ロードマップの展望』

井上 弘基氏 機械振興協会経済研究所 研究副主幹

栗原 啓志郎氏 半導体技術ロードマップ委員会 委員

増田 尚也氏 ユーシーティー(株) 代表取締役

16:20～パネルディスカッション

『ネットベンチャー夏の陣』

有田 道生氏 (株)ヘルスケアネット 代表取締役

南場 智子氏 (株)ディー・エヌ・エー 代表取締役

林 元徳氏 (株)トリニティーコミュニケーション 代表取締役

平野 洋一郎氏 インフォテリア(株) 代表取締役

水野 善郎氏 イチレイオン(株) 代表取締役



『半導体技術ロードマップの展望』 左から： NTVN森氏、半導体技術ロードマップ委員会栗原氏、機械振興協会経済研究所井上氏、ユーシーティー(株)増田社長



『ネットベンチャー夏の陣』

左から： NTVN村口代表、イチレイオン(株)水野社長、(株)ディー・エヌ・エー南場社長、(株)トリニティーコミュニケーション林社長、インフォテリア(株)平野社長、(株)ヘルスケアネット有田社長

